

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 東大

上場会社名 ナカバヤシ株式会社

コード番号 7987 URL <http://www.nakabayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 辻村 肇

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部副本部長

(氏名) 作田 一成

TEL 06-6943-5555

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	10,408	△8.1	△144	—	△49	—	△79	—
21年3月期第1四半期	11,324	—	133	—	226	—	20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.43	—
21年3月期第1四半期	0.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	44,432	18,656	40.6	324.00
21年3月期	45,475	18,651	39.7	324.18

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 18,061百万円 21年3月期 18,073百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		3.00	—	3.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	22,500	△2.7	110	△67.6	200	△55.0	30	△71.6	0.54
通期	49,000	△0.1	1,100	△8.4	1,200	△5.5	400	1.2	7.18

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 61,588,589株 21年3月期 61,588,589株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 5,843,822株 21年3月期 5,838,238株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 55,746,698株 21年3月期第1四半期 56,702,020株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年5月14日発表の通期連結業績予想は、平成21年7月30日発表のとおり修正を行っております。業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、5ページ「定性的情報・財務諸表等3.連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、世界的な金融不安の影響により、企業収益、雇用環境の悪化、個人の消費の低迷など依然厳しい状況で推移しております。

このような状況のもと、当社はオンラインショッピングサイト「フェルモール」の拡充やシルバーカーなど高齢者向け福祉用具の販売などに取り組みましたが、需要の回復は想定以上に遅れており、当社グループの当第1四半期の売上高は、前年同四半期比8.1%減の104億8百万円となりました。

一方利益面では、付加価値の高い受注や商品の販売に注力しましたが、需要減退に伴う減産により稼働率が低下し、原価率は若干上昇しました。また販売費及び一般管理費は減少しましたが、売上高の減少が響き、営業損失は1億44百万円（前年同四半期比2億78百万円減）、経常損失は49百万円（前年同四半期比2億75百万円減）となりました。

また、特別利益として貸倒引当金戻入額32百万円、特別損失として固定資産処分損など合計で6百万円を計上いたしました結果、税金等調整前四半期純損失は23百万円（前年同四半期比2億13百万円減）となり、法人税等税負担調整後の当四半期純損失は79百万円（前年同四半期比1億円減）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

[紙製品関連事業]

図書製本におきましては、Web製本サービス「フェルファインブック」の機能を充実するなど、少数製本の新たなユーザーの開拓を進めています。手帳につきましては、経済環境の悪化により厳しい状況が続いております。この結果、図書製本及び手帳の売上高は前年同四半期比14.3%減の7億14百万円、受注高は15億96百万円（前年同四半期比11.8%減）となりました。

アルバム等日用紙製品につきましては、「フェルフォトブック」に新機能を追加し、他社との提携も積極的に進めるなど、フォトブックの新規ユーザーの開拓に注力しております。また環境に適したカーボンオフセット付きフラットファイルや携帯ストラップ付ミニアルバムなどの新商品の拡販に努めました。

ビジネスフォームの分野では新規顧客の開拓を推進するとともに各種情報処理サービスの一層の拡充に努めました。しかし景気は依然厳しい状況にあり、この結果、アルバム等日用紙製品及びビジネスフォームの売上高は68億44百万円（前年同四半期比3.4%減）となり、図書製本及び手帳を合わせ当事業の売上高は75億58百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

利益面におきましては、付加価値の高い受注や製品の販売に注力しましたが、減産による稼働率の低下により原価率は若干上昇し、営業利益は2億29百万円（前年同四半期比25.8%減）と減益となりました。

[事務機器関連事業]

シュレツダは景気後退の影響を受け設備投資の縮小により低調に推移しましたが、今年6月に新たに「オフィスシュレツダカタログ」を発刊し、当社及び他社からの仕入商品を同時に掲載するなど、お客様のより細かなニーズに対応し、販売の強化に努めております。また、チャイルドシートは自動車の販売台数の低迷により、コンピュータ周辺機器、オフィスファニチャー、樹脂収納製品は消費の低迷により、売上高は減少しました。この結果、当事業の売上高は28億34百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

利益面におきましては、売上高の減少が大きく、原価率も上昇したことから営業損失は27百万円（前年同四半期比1億63百万円減）と減益となりました。

[その他事業]

連結子会社の日達物流が営む貨物運送事業等は、売上高が15百万円（前年同四半期比12.9%減）となり、原価率の上昇により営業利益は11百万円（前年同四半期比20.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10億54百万円減少し、199億68百万円となりました。これは商品及び製品が2億98百万円、仕掛品が2億12百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が18億43百万円、繰延税金資産（その他流動資産）が51百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、244億64百万円となりました。これは投資有価証券（その他固定資産）が3億54百万円増加し、機械装置及び運搬具（その他固定資産）が1億56百万円、繰延税金資産（その他固定資産）が1億23百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期末の総資産は前連結会計年度末に比べて10億42百万円減少し、444億32百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて5億37百万円減少し、163億9百万円となりました。これは短期借入金が4億58百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が6億85百万円、未払法人税等が1億61百万円、賞与引当金が1億9百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて5億10百万円減少し、94億66百万円となりました。これは、長期借入金が5億36百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて10億47百万円減少し、257億76百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて微増の186億56百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が2億8百万円増加し、利益剰余金が2億47百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期末の自己資本比率は40.6%となり、前連結会計年度末に比べて0.9ポイント上昇いたしました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期末における営業活動によるキャッシュ・フローは、7億6百万円の収入（前年同四半期比6億2百万円収入減）となりました。主な内訳は、減価償却費3億62百万円、売上債権の減少額18億43百万円、たな卸資産の増加額5億49百万円、仕入債務の減少額6億87百万円等であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億86百万円の支出（前年同四半期比9百万円支出増）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2億75百万円等であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億71百万円の支出（前年同四半期比1億70百万円支出減）となりました。主な内訳は、短期借入金の純増加額4億40百万円、長期借入れによる収入3億円、長期借入金の返済による支出8億40百万円、配当金の支払額1億67百万円等であります。

この結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて1億55百万円の増加となり、36億14百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

昨年後半以降の急速な景気の悪化、個人消費の低迷などの影響により、第2四半期累計の売上高は225億円、営業利益は1億10百万円、経常利益は2億円、四半期純利益は30百万円となり前回公表数値を下回る見込です。通期につきましても第2四半期累計の業績見込を反映し、売上高は490億円、営業利益は11億円、経常利益は12億円、当期純利益は4億円となり前回公表数値下回る見込です。

なお、業績予想につきましては、平成21年7月30日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,655	3,500
受取手形及び売掛金	8,429	10,273
有価証券	26	12
商品及び製品	4,708	4,409
仕掛品	937	725
原材料及び貯蔵品	1,323	1,279
その他	896	862
貸倒引当金	△8	△40
流動資産合計	19,968	21,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,029	6,128
土地	11,130	11,130
その他（純額）	3,952	4,052
有形固定資産合計	21,112	21,311
無形固定資産		
のれん	67	77
その他	275	284
無形固定資産合計	343	362
投資その他の資産		
その他	3,114	2,884
貸倒引当金	△105	△104
投資その他の資産合計	3,009	2,779
固定資産合計	24,464	24,453
資産合計	44,432	45,475

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,283	6,968
短期借入金	6,705	6,246
未払法人税等	31	193
賞与引当金	358	468
その他	2,931	2,970
流動負債合計	16,309	16,847
固定負債		
長期借入金	5,885	6,422
退職給付引当金	3,064	3,033
役員退職慰労引当金	30	34
その他	485	486
固定負債合計	9,466	9,976
負債合計	25,776	26,823
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,740	8,740
利益剰余金	3,468	3,715
自己株式	△1,330	△1,329
株主資本合計	17,544	17,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	456	247
繰延ヘッジ損益	1	△14
為替換算調整勘定	59	47
評価・換算差額等合計	517	280
少数株主持分	594	578
純資産合計	18,656	18,651
負債純資産合計	44,432	45,475

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	11,324	10,408
売上原価	8,178	7,606
売上総利益	3,145	2,802
販売費及び一般管理費	3,011	2,946
営業利益又は営業損失(△)	133	△144
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	32	25
有価証券売却益	0	1
受取保険金	74	74
受取賃貸料	—	34
その他	89	26
営業外収益合計	197	163
営業外費用		
支払利息	57	49
その他	47	18
営業外費用合計	105	68
経常利益又は経常損失(△)	226	△49
特別利益		
貸倒引当金戻入額	37	32
その他	0	—
特別利益合計	37	32
特別損失		
固定資産処分損	7	2
たな卸資産評価損	64	—
役員退職慰労金	—	2
その他	1	0
特別損失合計	73	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	189	△23
法人税、住民税及び事業税	51	34
法人税等調整額	109	14
法人税等合計	160	49
少数株主利益	7	7
四半期純利益又は四半期純損失(△)	20	△79

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	189	△23
減価償却費	339	362
のれん償却額	10	9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△37	△31
受取利息及び受取配当金	△33	△25
支払利息	57	49
売上債権の増減額(△は増加)	1,636	1,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△468	△549
仕入債務の増減額(△は減少)	△149	△687
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△123	△109
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△8	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	20	31
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△265	△4
有価証券売却損益(△は益)	△0	△1
有形固定資産処分損益(△は益)	7	2
未払消費税等の増減額(△は減少)	2	△10
その他	432	61
小計	1,610	918
利息及び配当金の受取額	33	25
利息の支払額	△83	△64
法人税等の支払額	△251	△173
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,308	706
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売買による収支(純額)	0	1
有形固定資産の取得による支出	△248	△275
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△2	△3
投資有価証券の売却による収入	—	1
無形固定資産の取得による支出	△35	△9
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	10	—
短期貸付金の増減額(△は増加)	△1	0
その他	△1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△277	△286

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,200	300
長期借入金の返済による支出	△836	△840
社債の償還による支出	△3,000	—
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△170	△167
短期借入金の純増減額 (△は減少)	364	440
その他	0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△442	△271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	583	155
現金及び現金同等物の期首残高	3,527	3,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,110	3,614

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	紙製品 関連事業 (百万円)	事務機器 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	7,916	3,389	18	11,324	—	11,324
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	52	358	414	(414)	—
計	7,920	3,442	376	11,738	(414)	11,324
営業費用	7,611	3,306	362	11,280	(89)	11,190
営業利益	308	135	13	458	(324)	133

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各区分の主な製品

(1) 紙製品関連事業………図書製本・手帳・アルバム等日用紙製品の製造販売

(2) 事務機器関連事業………OAデスク・レターケース等鋼製事務機・コンピュータ用品・オフィス家具・チャイルドシート等の製造販売

(3) その他事業………貨物自動車運送事業・同取扱事業

3 「定性的情報・財務諸表等 4. その他 (3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」に記載の通り、「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。

この結果、この変更に伴い、「紙製品関連事業」の営業利益が8百万円、また、「事務機器関連事業」の営業利益が6百万円、それぞれ減少しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	紙製品 関連事業 (百万円)	事務機器 関連事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に 対する売上高	7,558	2,834	15	10,408	—	10,408
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	33	333	368	(368)	—
計	7,559	2,867	349	10,777	(368)	10,408
営業費用	7,330	2,895	338	10,564	(11)	10,553
営業利益又は 営業損失(△)	229	△27	11	212	(357)	△144

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

(1) 紙製品関連事業………図書製本・手帳・アルバム等日用紙製品の製造販売

(2) 事務機器関連事業………OAデスク・レターケース等鋼製事務機・コンピュータ用品・オフィス家具・チャイルドシート等の製造販売

(3) その他事業………貨物自動車運送事業・同取扱事業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）、当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）、当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
紙製品関連事業	4,946	96.9
事務機器関連事業	1,246	81.3
合計	6,193	93.3

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

なお、受注生産は紙製品関連事業のうち図書製本、手帳及びビジネスフォーム部門のみで、他の紙製品関連事業(日用紙製品)及び事務機器関連事業は見込み生産で、受注生産は僅少ですので記載を省略しております。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
紙製品関連事業	5,043	94.3	3,021	90.9

- (注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
紙製品関連事業	7,558	95.5
事務機器関連事業	2,834	83.6
その他事業	15	87.1
合計	10,408	91.9

- (注) 1 当第1四半期連結累計期間における相手先別の販売実績は、総販売実績に対する割合が100分の10未満の相手先のみで、記載を省略しております。
2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。